

「文化祭」(2003年度G P採択)

毎年11月2～4日に新宿・新都心キャンパスを開放して開催され、学生が企画・運営するファッションショー、手作り作品のバザー、大学グリル、教科展示などのイベントを通じて本学の特色ある専門教育の内容、成果を発表する場となっています。教職員と学生が一体となるだけでなく、大学と地域・社会、学部と短大部、学生とOG、さらに教育とイベントといった多様なコラボレーションによって盛り上がりを見せます。2003年には、これらが、特色ある教育内容を活かし活力ある大学を創る実践的な取り組みとして評価され、本学の学園祭「文化祭」が、「文化祭は“Collaboration & Creation”の場」として、教育改革を推進する大学をサポートする文部科学省の事業「G P (特色ある大学教育支援プログラム)」に採択されました。今後も半世紀以上の歴史を綴るイベントを一人でも多くの方にご来場いただけるよう、発展させていきたいと考えております。



企画集団FUSEファッションショー

企画・縫製からモデルまですべて学生が担当しています。また、オープンキャンパスでも披露しています。

「教科展示」は、本学の教育内容を一同に公開する場。約50室を使用し、専門領域に添ったプレゼンテーションが行われます。

「大学グリル」は、一般教室を、学生のアイデアで毎年多彩に変身させます。教員の指導のもとでデザイン・試作・実物制作に約1か月かけて完成させます。調理は調理実習指導教員と受講学生が担当します。

大学の卒業生は、1950年の創設以来、約5万人を超えています。「ホームカミングデー」では、大学との連携を保っていただくべく大学にお招きした卒業後20年の卒業生たちが、旧交を温めています。



ホームカミングデー



玄関モニュメント

文化祭を象徴する「玄関モニュメント」は学生有志と造形系教員の協同制作で、約1か月かけて完成されます。



教科展示



大学グリル

キャンパス散策 (文化女子大学 文化女子大学短期大学部)



文化女子大学は、1923年(大正12年)に創立された文化学園を基盤に、文化女子短期大学(現 文化女子大学短期大学部)として1950年にスタート。半世紀を超える歴史と伝統をもとに、服装学・生活造形学のパイオニアとして独自の教育理念を培ってきました。

1987年に短大部国際文化学科、1991年に文学部国際文化学科・英語英文学科を設置したほか、2000年には文学部に健康心理学科を新設。着実にそのフィールドを広げています。さらにこの年、家政学部は服装学部と造形学部の2学部となりました。いま、私たちは、服装学部と造形学部、短大部の服装学科と生活造形学科によって日本の服装学・造形学・住環境学分野の研究、発展をリードし、現代文化学部によって社会のグローバルゼーションに対応、世界で活躍できる人材を育成しています。

文化学園全体では、大学院・短大部専攻科・室蘭短期大学・附属高等学校・附属中学校・附属幼稚園などの設置により、総合教育機関としての理想的な教育体制を確立しています。新しい時代に向けて、社会から本学に寄せられる期待はますます大きくなっています。今後も「文化女子大学」「文化女子大学短期大学部」独自の教育・研究システムを最大限に発揮して、未来へと大きく歩みを進めていきます。



新都心キャンパス

文化・ファッションの情報発信基地、新宿の超高層ビル群に位置する新都心キャンパスでは、服装学部、造形学部、短期大学部の学生が学んでいます。最新の施設や設備を備えた高層校舎を中心に、キャンパスのリニューアルが完成。さまざまな刺激にあふれた環境のなかで、感性や創造性を豊かに育み、私たちが真に求める「用と美」を考え、「新しい美」を創造していきます。

小平キャンパス

現代文化学部の学生が学ぶ小平キャンパスは、武蔵野の豊かな緑に囲まれた理想的な環境にあります。コンピュータ実習室やLL教室などの施設はもちろん、英国庭園風の広場や多目的ホール、テニスコートなど、ゆとりのための設備も充実した環境のもと、高度情報化と国際化という時代の流れに即した教育を展開。また、キャンパス内には個室形式の学生寮があり、万全なセキュリティを整備。新都心キャンパスまで約50分という通学にも便利な環境です。



文化学園ファッションリソースセンター

ファッションリソースセンターは、多数の布地サンプルを系統的に整理・保有する「テキスタイル資料室」、パブリックコレクションなどファッションを中心とした映像資料を保有する「映像資料室」、70余年にわたりファッション服飾関連の実物資料を蓄積してきた「コスチューム資料室」で構成。本学の学生や教職員への情報提供はもとより、日本のファッション教育・産業界にも情報公開、交流を促し、世界のファッション情報センターとして機能することをめざしております。



テキスタイル資料館

テキスタイルに関する資料と情報を多面的に提供し、8,000点を超える基本的な素材から最新トレンド素材まで、デザイン発想を豊かにする布地を収集・展示しています。実物資料を取り出すことができるコンピュータによるテキスタイル検索もできます。

映像資料室

さまざまな映像資料をDVD、ビデオ、パソコン等を利用して視聴するための施設です。特にファッションに係わる資料が充実しています。コレクション約95,000点の画像データをパソコンで検索してプリントアウトすることもできます。



コスチューム資料室

本学のファッションショーや著名デザイナーの作品、企業の製品など多種多様な約50,000点を収蔵しています。カリキュラムに合わせて各クラスに貸し出され、デザイン、素材、作図、縫製、着装などの授業用参考資料として、学習効果を高めるのに役立っています。



文化学園服飾博物館

服飾に関する教育・研究の一助にと開設された博物館には、日本はもとより世界各地にわたる服飾資料を所蔵し、テーマを設けて年4回の展示替えや講演会を行っています。秋の特別展には多くの優品が展示されます。